

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和4年6月20日（月）10：00～11：10

3. 場所：原子力規制庁8階南会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 村上課長補佐、斎藤課長補佐、片桐専門  
職

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子燃料部門 燃料技術グループ マネジャー、他1名

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構（JAEA）

原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 副センター長 他2名

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 炉心・安全技術部 炉心・放射線技術課 主席技師

（テレビ会議システムによる出席）

原子力エネルギー協議会（ATENA）

事務局長、他2名

5. 要旨：

○ATENA等から、事故耐性燃料について、導入に向けて取得が必要と考えているデータや整理が必要と考えている事項、想定しているスケジュール感について説明があった。

○JAEAから、事故耐性燃料の特性や開発状況について説明があった。

○原子力規制庁から、事故耐性燃料導入について、どのように議論を進めるのが適当か、今後も意見交換が必要であることを伝えた。

6. 配付資料：

資料1：事故耐性燃料への対応について

資料2：我が国におけるATF開発のこれまでの経緯と現状

以上